

AEDを小中学校にも配置を



石橋 達八 議員

【質問】 近年増加している「発達障害」(①注意欠陥多動性障害②学習障害③アスペルガー④高機能自閉症等)は早期発見、早期療育の開始が重要であることから、5歳時健診の実施が求められる。

【市長】 「少子化対策・子育て支援総合プラン」の作成の中でも検討した、総合プランの取り組みの結果を検証し、

課題等を把握し「発達障害児」の早期発見、早期療育支援などの充実に努めたい。

【質問】 AED(自動体外除細動器)の設置施設の拡充及び学校施設等の拡大は。

【市長】 現在、34箇所に設置している。来年度は遠野運動公園やふれあいホームなど7箇所に設置を予定している。小中学校については、来年度は中学校、平成21年度は小学校に設置を検討している。

【質問】 遠野市は農村と都市間交流の先進地である。平成20年度から総務省、文部科学省、農林水産省の3省が連携して進める「子ども農山漁村交流プロジェクト」の取り組みは、地域活性化のためにも必要だ。

【市長】 本年10月に受け入れ状況調査があり、意欲ある旨回答した。5年後には全国のすべての公立小学校、年間120万人の児童の交流が始まる。遠野市では、これまでのノウハウの蓄積と経験を活かし、検証も行いさらなる充実に図る。

【質問】 全国的に、食品の産地偽装や日付の改ざんなどの偽装表示が頻発している。遠野市から、このような食の信頼を失墜するような事態があってはならない。関係者に法の厳守、正確な表示の喚起は必要ないか。

【市長】 このような事態を受けて、市内産直を対象に研修会を実施している。市内ではこのような偽装のないことを信じている。

【質問】 危険性がある消石灰は直ちに排除すべきだ。

【教育長】 そうしたい。児童生徒が安心安全な学校生活を送るため、最大限配慮する。



▲来年度中学校に設置が検討されているAED

宮守町の活性化対策について



菊池 充 議員

【質問】 合併後2年が経過した今日、宮守町の経済活動が減少し活力低下を招いているが、これからの活性化対策を示されたい。

【市長】 みやもりホールや総合センターの活用状況を見ると利用人数の極端な減少はなく、人が集まる機会は大きく減っていないものと考えているが、市が所有している土地や

遊休施設を活用した企業誘致など、宮守町の振興につながる施策に取り組んでいく。花巻・釜石自動車道の宮守インターが開通しても宮守町が目的地となるよう、観光資源や地域資源を情報発信し交流人口の拡大を図る。情報ビジネス校の閉校後の校舎の活用については、宮守町活性化の拠点と位置づけて議論を深める必要がある。隣接する銀河の森運動公園や柏木平レイクリゾートなどを含めた一つのエリアとして、合宿施設などへの活用策を探りたい。寺沢高原の観光施設については観光交流施設整備保全方針に基づき改修を行う計画であり、整備後はマスメディアを活用してPRし観光振興と体験交流施設としての活用を図っていく。

【質問】 安心、安全の道路網整備について、市道高館線、迷岡線の整備計画を示されたい。

【市長】 迷岡線は総合計画前期計画で平成22年度以降に整備することで位置づけており、高館線は災害の場合の緊急代替路線でもあるため今後の事業計画に搭載し、順次整備していく。

【質問】 民生委員・児童委員の活動支援について、任命権、支援策、市独自の選任についての考えを示されたい。

【市長】 任命権については現行制度を堅持、支援の可能性について議論を重ねていく。3年後の改選期には、待ったなしの削減が求められることを見据え、できる限り早い時期に方向性を見出したいと考えている。

